

# 令和6年能登半島地震 TEC-FORCEの活動報告会

## 被災状況調査班(道路)

# 令和6年能登半島地震 九州地整 TEC-FORCEの主な派遣

令和6年能登半島地震対応

国土交通省九州地方整備局 TEC-FORCE

(令和6年2月29日時点)

拡大図

被災状況調査班(ドローン/道路)

【国道249号沿岸部】

宿泊拠点(待機支援車)

【輪島市役所】



被災状況調査班(道路)

被災状況調査班(ドローン/道路)

被災状況調査班(ドローン/砂防)

給水支援班

【輪島市】

給水支援班

【志賀町文化ホール】

【志賀町内移動給水】

宿泊拠点

【岡ホテル】

出典:国土地理院地図



被災状況調査班(道路):64班232名(延べ1,533名・日)



被災状況調査



1/28手交式(通行可能調査)



2/26手交式(被災状況調査)

被災状況調査班(海岸・河川):2班10名(延べ70名・日)



被災状況調査



1/31手交式(被災状況調査)

被災状況調査班(ドローン):8班27名(延べ168名・日)



ドローン活用し被災状況調査



3次元点群データ

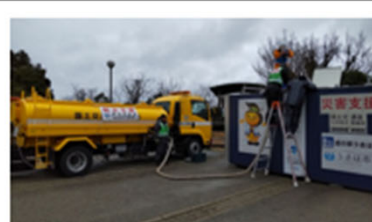
給水支援班:7班14名(延べ88名・日)



給水支援(志賀町)



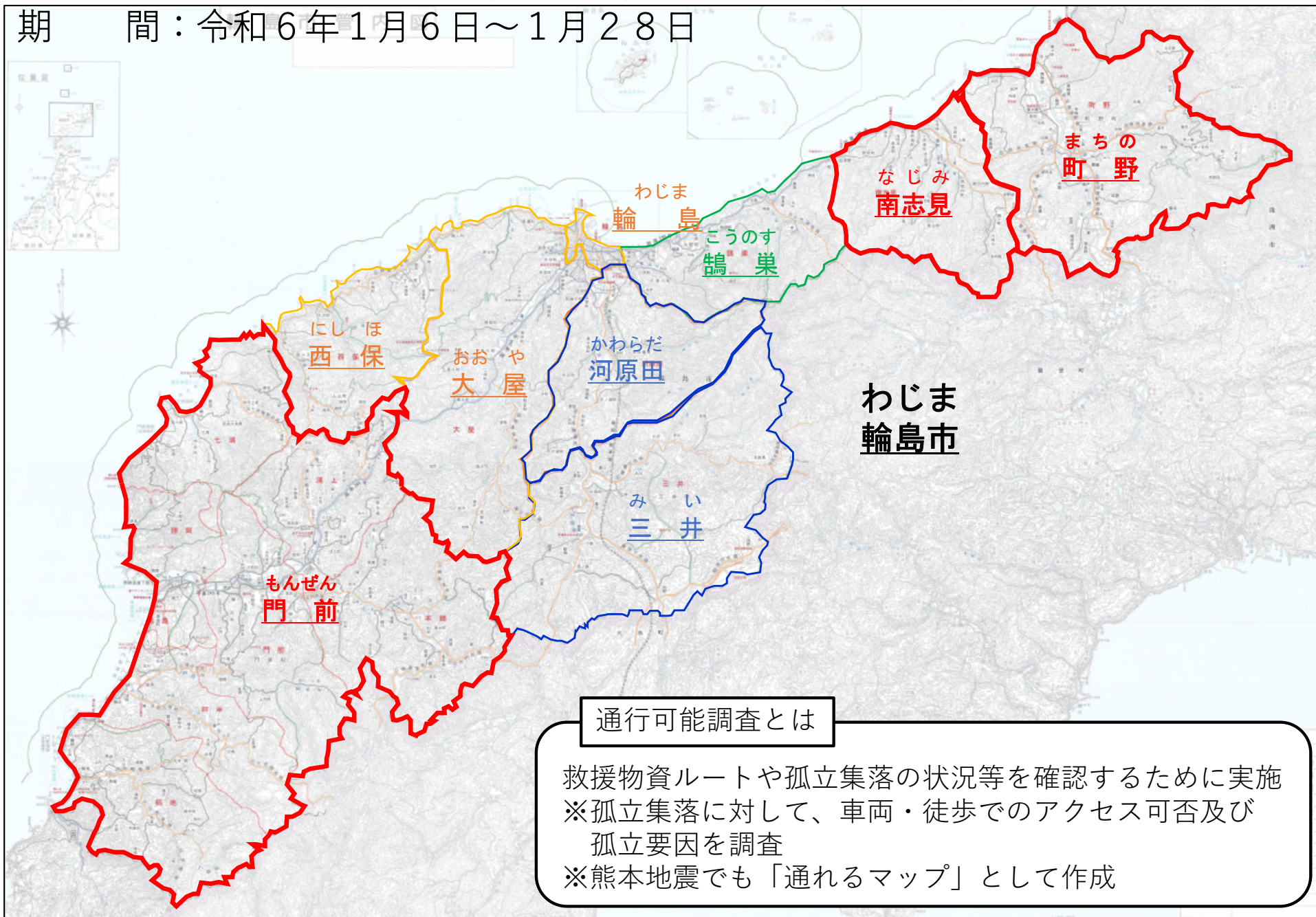
移動式ラトリーに給水(輪島市)



コンテナ型トイレに給水(能登町)



派遣場所：輪島市 門前地区(307路線)、町野地区(145路線)、南志見地区(61路線)  
期 間：令和6年1月6日～1月28日





○輪島市での活動方針について九州・中部・四国地方整備局で確認



△九州・中部・四国地方整備局の合同打合せ（金沢河川国道事務所にて）



△TEC班長と各班員にて活動方針を共有



○輪島市役所で活動方針を確認の後、輪島市が管理する道路の通行可能調査に着手



△輪島市による現地状況説明



△門前総合支所による説明



△現地調査の状況（輪島市上山町）



△現地調査の状況（輪島市上山町）



○関係機関・地元住民に聞き取り等を行い、輪島市が管理する道路の通行可能調査を実施



△現地調査状況（輪島市町野町）



△現地調査状況（輪島市町野町）



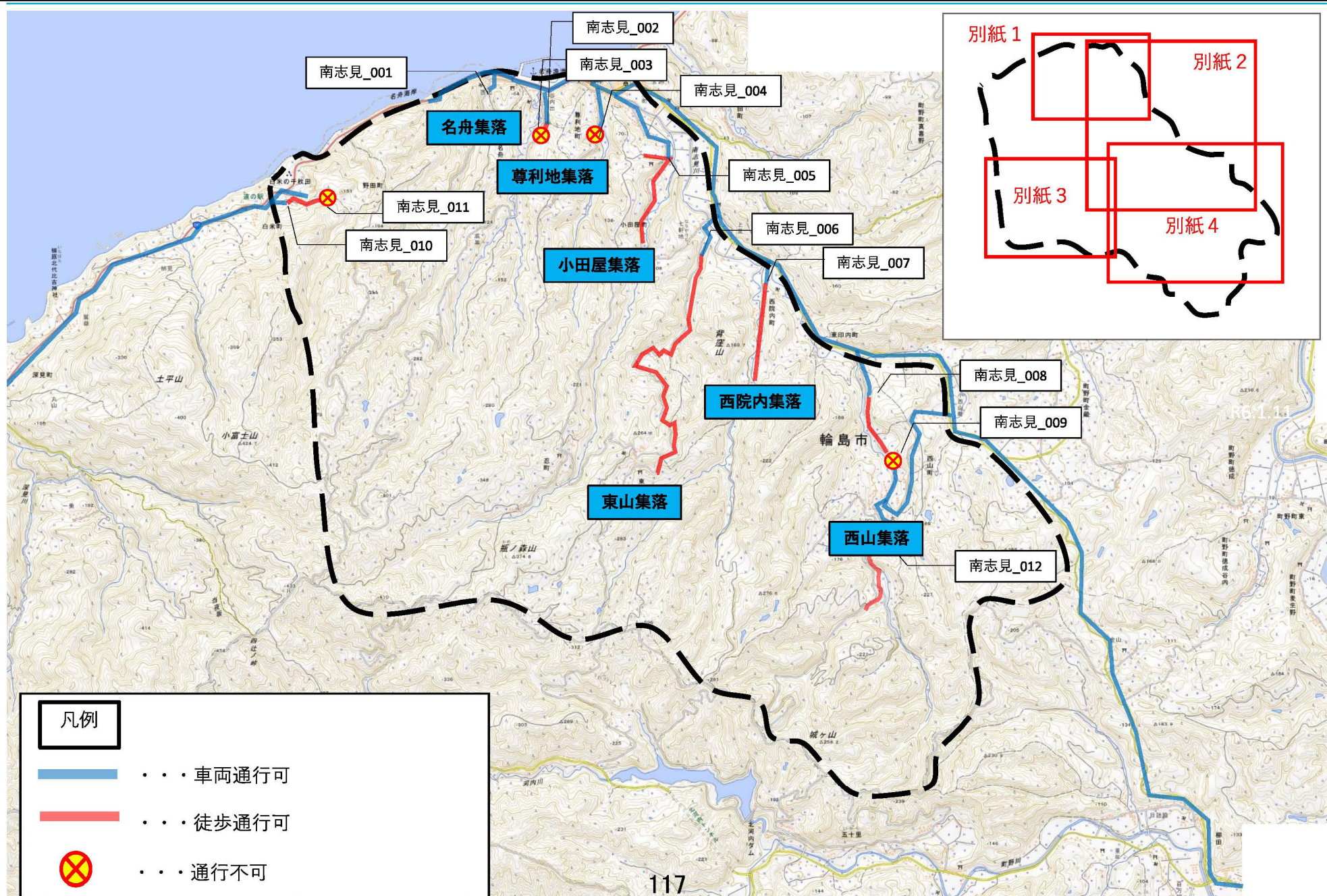
△現地調査の状況（輪島市）



△現地調査状況（輪島市町野町）



○輪島市が管理する道路の通行可能調査結果について、輪島市へ日々報告





- 通行可能調査の結果を輪島市長へ手交（令和6年1月28日）
- 市長より「マンパワーと技術的知見に基づく調査をしてもらった。調査にあたられた国土交通省職員に感謝申し上げます。」とのコメントがありました。



▲輪島市長へ調査結果を手交

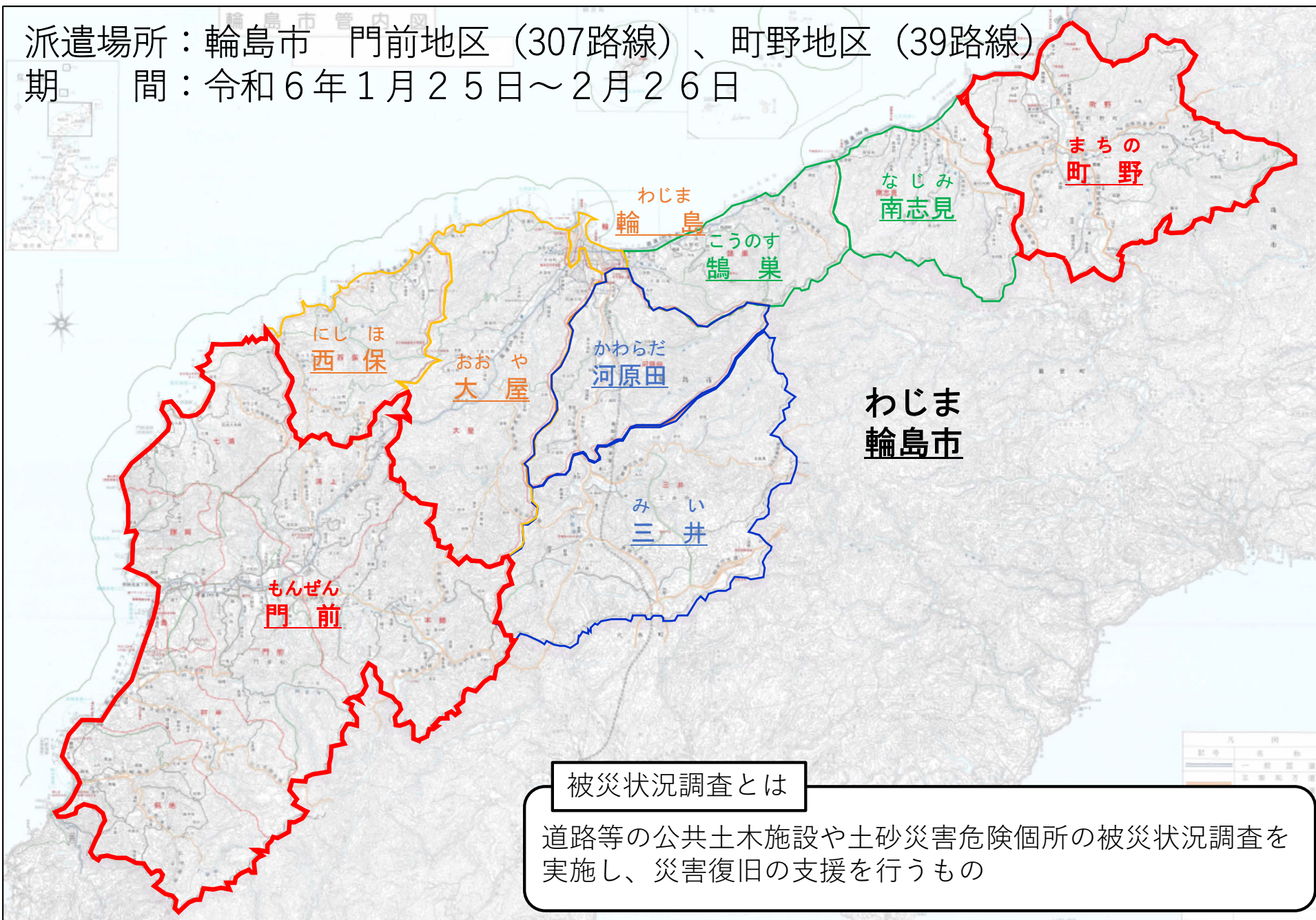


▲調査結果の説明状況



派遣場所：輪島市 門前地区（307路線）、町野地区（39路線）

期 間：令和6年1月25日～2月26日





○被災箇所ごとの発生位置、規模等を把握するため、輪島市が管理する道路の被災状況調査を実施



▲被災状況調査状況



## ○輪島市が管理する道路の被災状況調査実施状況



▲主な被災状況（路面崩壊、斜面崩壊、落石）



▲主な被災状況（マンホールの隆起、舗装損傷）



▲被災状況の資料整理状況



- 活動拠点のホテルでも班員会議を実施。
- 活動拠点から現地までの移動に時間を要するため、現地に待機支援車を配備し、宿泊場所として利用することで調査時間を確保。



▲ホテル内での打合せ状況



▲調査時間確保のため待機支援車を活用



①【1級市道】西円山線



地盤振動により法肩崩壊

## もんぜん 門前地区

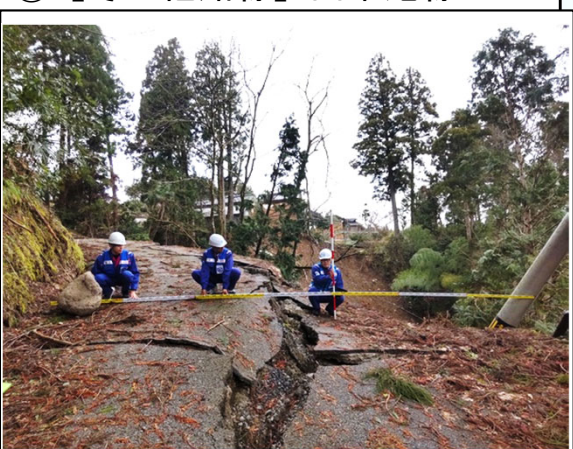


③【その他路線】大町線



地盤振動により道路が陥没・崩壊

②【その他路線】西中尾線



地盤振動に伴う道路崩壊

④【その他路線】谷口鑓川線



鑓川橋 取付擁壁の崩落



- 被災状況調査結果を輪島市長へ手交（令和6年2月26日）
- 市長より「支援に感謝。冬で業務がしにくく宿舎も無い状況で苦勞をかけたと思う。調査していただいた資料で1日でも早い復旧に努めたい。」とのコメントがありました。



▲輪島市長へ調査結果を手交



▲調査結果の説明状況